

家庭学科

生活 デザイン科

LIFE DESIGN
DEPARTMENT

各分野に関する諸問題を解決していく力を養います。
衣食住や福祉、保育に関する知識・技術を習得し、
生活を支える産業や職業のスペシャリスト育成のため、

■ 特色ある主な科目

ファッション造形基礎／実習を中心に、被服製作の基礎を学びます
生活と福祉／高齢者の福祉や介護・看護について学習し、校外実習も行います

課題研究／家庭科の分野ごとに研究テーマを設定し、その課題解決のために研究します



主な学習内容

保育基礎

子どもの発達や生活を総合的に捉える能力や、保育に必要な知識・技術を習得し、将来、関連の分野で活躍する職業人を目指して学習します

生活産業情報

情報処理の基礎や情報モラルについて学習します

フードデザイン

栄養・食品・献立・調理・テーブルマナーなどの知識と技術を学習します

生活産業基礎

衣食住などの生活に関連する産業や職業について学びます

消費生活

消費者の権利と責任、持続可能な社会を目指したライフスタイルなどについて学習します

取得可能な資格

- 家庭科被服製作技術検定4～1級
- 家庭科食物調理技術検定4～1級
- 鳥取県福祉ヘルプメイト(認定証)

アドミッションポリシー

- 家庭科の学習が好きな人
- ものづくりに興味・関心のある人
- 人と関わるのが好きな人

こんな人
求めます！

教育課程表

学年 (年次)	類型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		現代の国語	歴史総合	数学I	科学と人間生活	体育	保健	芸術	英語コミュニケーションI	家庭基礎	ファッション造形基礎	フードデザイン	生活産業基礎	生活産業情報	HR																
1	生活科学	言語文化	公共	数学A	生物基礎	体育	保健	英語コミュニケーションII	保育基礎	ファッショングラフィック	フードデザイン	A選択	B選択	HR																	
		生活福祉	地理総合	実践数学	体育	課題研究	消費生活	ファッショングラフィック		食文化	生活と福祉	ファッショングラフィック	フードデザイン																		
3	生活科学	言語文化	公共	数学A	生物基礎	体育	保健	英語コミュニケーションII	C選択	D選択	E選択	F選択	G選択	HR																	
		生活福祉	地理総合	実践数学	体育	課題研究	消費生活	ファッショングラフィック		食文化	生活と福祉	食文化	生活と福祉																		

(令和5年度入学生用)



在校生 インタビュー INTERVIEW

生活デザイン科3年
仲村 奈穂
(河北中学校出身)



Q1.この科を選んだ理由は何かですか。

私は将来、人と関わる仕事をしたいと思っていました。生活デザイン科では、高齢者の福祉や保育についても学べると知り、介護士や看護師、保育士など、人と関わる職業の基礎知識や技術が学べると思い、この科を選びました。

Q2.学校で頑張っていることは何ですか。

私が頑張っていることは、定期検査です。1年生の時からしっかりと計画を立て、取り組んできました。コツコツと取り組むことで、焦ることなく試験に向かう気持ちのゆとりと自信ができます。また、学年ごとの評定は、進路に大きく影響します。就職・進学など、将来の自分のために、努力を重ねています。

Q3.あなたの夢は何ですか。

私の夢は、介護士になることです。介助が必要な人の生活を支え、たくさんの笑顔を見ることができたらうれしいです。そのためにも、もっと多くの知識と技術を身に付けたいと思っています。

Q4.中学生にメッセージをお願いします。

定期検査や検定試験、実習など、大変なこともありますですが、その代わりに体育祭や倉総祭など楽しい行事もたくさんあります。自分の将来のために何事にも挑戦して、一度きりの高校生活を悔いのないように楽しみましょう。

卒業生 インタビュー INTERVIEW

令和2年度卒
舟木 沙綾
鳥取短期大学 生活学科
食物栄養専攻



Q1.この科を選んだ理由は何かですか。

私は調理に興味があり、生活デザイン科にはどの学年にもフードデザインの授業があると知りました。たくさん調理実習ができ、専門的な知識と技術が身に付けられると思い、この科を志望しました。

Q2.学校生活で印象に残っていることは何ですか?

「生活と福祉」という授業の中で、介護技術の実習をしました。介護者の体に負担がかからないように考えられた方法を知り、これは今後とても役立つと思いました。また、学校祭で実行委員として頑張ったことや、クラスのステージ発表でみんながひとつになって取り組んだことは、青春の1ページとして心に残っています。

Q3.倉吉総産に入学して成長したと思うことは何ですか?

実習がたくさんあったので、講義や被服の実技は、1年生の時にできなかったことでも学年が上がるにつれてできるようになりました。短大では、高校で学んだ栄養の知識が基礎として役立っています。

Q4.中学生にメッセージをお願いします。

各科専門的な知識や技術が学べるので、普通科では体験できないことがいっぱいあります。将来、工業・商業・家庭系へ進みたい人にはもちろんおすすめですが、実習が好き、技術を身に付けていたい人もぜひ入ってほしいです。